

1 初期救急医療を取り巻く環境

受診相談体制：

- ・高齢化に伴う救急需要増加、複合疾患による高度化
- ・新型コロナウイルス感染症を契機とした患者の受療行動の変化“病院へ行く”⇒“まず電話で相談”

初期救急医療体制：

- ・少子化による労働人口の減少、医療従事者の不足
- ・医師の働き方改革による労働時間の制限

2 課題

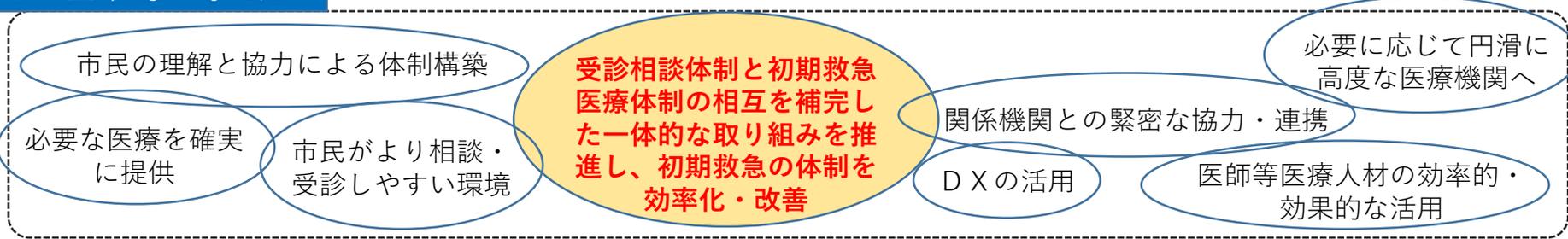
受診相談体制：

- ・相談先選択肢の拡大
- ・#7119等の認知度・応答率向上、相談時間帯の見直し
- ・市民の理解・協力による救急利用の適正化 など

初期救急医療体制：

- ・初期救急と二次救急の連携
- ・休日夜間診療所の受診しやすい環境整備や現状に応じた診療時間等の適正化
- ・人材確保 など

3 基本的な考え方



4 取り組みの方向性

受診相談体制の充実：

救急医療に関する市民の理解促進と受診相談体制の拡充によるトリアージ機能の強化

- ・受診相談に係る選択肢の拡充
- ・#7119の広報強化、24時間化 など

初期救急医療体制の維持・充実：

医療資源の集約化と適正配置による持続可能な休日夜間診療体制の確保

- ・初期救急と二次救急の連携強化
- ・北部急患診療所の施設のあり方見直し など